



みんなで減らそう！鹿屋市のごみ
～未来につなぐ、きれいなまちづくり～

リデュース

減らす。ごみの量をできるだけ減らし、ごみになるべく出さないように生活をする。

生ごみの量を減らす重要な取り組みとして、3キリ運動をご紹介します。



生ごみの水キリ!!

生ごみの約80%は水分。三角コーナーや水切りネットで水切りするだけで、重さ・においを減らせます。



料理の食べキリ!!

がんばって作った料理も、残してしまえば生ごみに。作りすぎを減らし、残ったら保存して食べきりましょう！



食材の使いキリ!!

冷蔵庫にある食材をチェックし、お店では必要な分だけを買うようにしましょう。



3キリの中でも特に水キリは重要です。生ごみは多くの水分を含み、処理するのに、時間もコストもかかります。ごみ減量に向けて、家庭の中でできることをご紹介します。



水キリ前



専用のトレイにセット

3キリに挑戦した親子



しげのぶりさ 重信 李沙・りま さん親子

今回、3キリ運動に取り組んでみて、生ごみの水気をギュッと絞ったり、食べきれん分だけ作ったりするなど、ちょっとしたことがごみ減量の手助けになると実感できました。

これからは、ごみ減量を意識して分別やりサイクルに取り組んで、ごみにしない努力を重ねながら、少しでもごみを減らしていきたいと思っています。



ギュッと一絞り



水キリ後

今日のひと手間が、明日の鹿屋を変える

捨てる前に、もう一度分別を確かめる。生ごみの水気を切る。まだ使えるものは、必要な人へつなぐ。そんな毎日の小さな行動が、ごみを減らし、資源を生かすことにつながります。

きれいなまちを未来へつなぐために、今日からできることを一つずつでも、始めましょう。



リユース

繰り返し使う。使わなくなったものを修理したり、人へ譲ったりして長く大切に使う。繰り返し使えるものを購入する。



▲リユース品回収イベントの様子

私たちエコミットは、不要になったものを回収して選別し、リユース品として市場に再流通させ、次の使い手へつなぐ仕事をしています。回収したものは、状態や種類を一つひとつ確認し、それぞれに合った形で店舗やインターネット、海外などに流通させています。

私たちが目指しているのは、「ごみを捨てない社会」を作ることです。その人にとっては不要なものでも、別の人にとっては必要な、価値のあるものなのかもしれない。私たちはそうしたものを、人から人へつなぐ、いわば「橋渡し」のような役割を担っています。

昨年11月に鹿屋市とリユース活動の促進に係る連携協定を結び、リユース品の回収イベントを行った



▲市役所1階に設置しているPASSTO

り、市役所内にPASSTOを設置したりするなどの連携を行っています。PASSTOは、身近な場所に設置した回収ボックスを通して、衣類などの不要品を簡単に回収し、リユースへつなげる仕組みのことです。これらの取り組みを行うことで、市民の皆さんにもリユースを身近に感じてもらえたらと思っています。

ものを手放すとき、「もう使わないから捨てよう」と考える前に、「まだ誰かが使えるかもしれない」と一度考えることで、「ごみを捨てない社会」の実現につながると思っています。



株式会社エコミット
なかむら かおる 中村 薫 さん

リフューズ

断る。ごみになるものを持ち込まない、 unnecessaryなものは買わない。過剰包装を断る。



例えば、こういうことに注意しましょう

- マイバッグを持ち歩き、お店でレジ袋を購入しない
- マイボトルを持ち歩く
- 使い捨てのスプーンやフォークなどをもらわない
- 過剰な包装やラッピングを断る
- 不要なチラシや試供品を受け取らない
- 長期間使用できる商品の購入に努め、モノは大切に使う
- 量り売りやばら売りのものは必要な分だけ購入する

マイバックや
マイボトルを
持ち歩こう！

